

昭和四十年法律第五十七号

石油ガス譲与税法

(石油ガス譲与税)

第一条 石油ガス譲与税は、石油ガス税法(昭和四十年法律第五十六号)の規定による石油ガス税の収入額の二分の一に相当する額とし、都道府県及び道路法(昭和二十七年法律第八十号)第七條第三項に規定する指定市(以下「指定市」という。)に対して譲与するものとする。(譲与の基準)

第二条 (石油ガスの譲与)

石油ガス譲与税は、都道府県及び指定市に對し、道路法第二十八條に規定する道路台帳に記載されている一般国道、高速自動車国道及び都道府県道で各都道府県及び各指定市が管理するもの(当該都道府県又は指定市がその管理について経費を負担しないものその他総務省令で定めるものを除く。)の延長及び面積に按分して譲与するものとする。前項の場合においては、石油ガス譲与税の二分の一の額を同項の道路の延長で、他の二分の一の額を同項の道路の面積であん分するものとする。

第一項の道路の延長及び面積は、総務省令で定めるところにより算定するものとする。ただし、道路の種類、幅員による道路の種別その他の事情を参酌して、総務省令で定めるところにより補正することができる。

(譲与時期及び譲与時期ごとの譲与額)

第三条 石油ガス譲与税は、毎年度、次の表の上欄に掲げる時期に、それぞれ当該下欄に定める額を譲与する。

Table with 2 columns: 譲与時期 (譲与時期ごと) and 譲与すべき額. Rows for June, November, and March.

前項に規定する各譲与時期ごとに譲与すべき額がなかつた金額があるとき、又は各譲与時期において譲与すべき金額をこえて譲与した金額があるとときは、それぞれ当該金額を、次の譲与時期に譲与すべき額に加算し、又はこれから減額するものとする。

(譲与時期ごとの譲与額の計算)

第四条 各都道府県及び指定市に對する前条第一項に規定する各譲与時期ごとに譲与すべき石油ガス譲与税の額として前二條の規定を適用して計算した金額に千円未満の端数金額があるときは、その端数金額を控除した金額をもつて、当該各譲与時期ごとに譲与すべき石油ガス譲与税の額とする。

(譲与額の算定に用いる資料の提出義務)

第五条 都道府県知事及び指定市の長は、総務省令で定めるところにより、石油ガス譲与税の額の算定に用いる資料を総務大臣に提出しなければならない。

(譲与すべき額の算定に錯誤があつた場合の措置)

第六条 総務大臣は、石油ガス譲与税を都道府県及び指定市に譲与した後において、その譲与した額の算定に錯誤があつたため、譲与した額を増加し、又は減少する必要があるときは、総務省令で定めるところにより、当該増加し、又は減少すべき額を、錯誤があつたことを発見した日以後に到来する譲与時期において譲与すべき額に加算し、又はこれから減額した額をもつて当該譲与時期において都道府県及び指定市に譲与すべき額とするものとする。

(地方財政審議會の意見の聴取)

第六条の二 総務大臣は、次に掲げる場合には、地方財政審議會の意見を聴かなければならない。

- 一 第八条の政令の制定又は改廃の立案をしようとするとき。
二 第二条第一項若しくは第三項又は前条の総務省令を制定し、又は改廃しようとするとき。
三 都道府県及び指定市に對して譲与すべき石油ガス譲与税を譲与しようとするとき。

(石油ガス譲与税の使途)

第七条 国は、石油ガス譲与税に当たつては、その使途について条件を付け、又は制限してはならない。

(指定市の指定があつた場合における譲与の基準に関する特例)

第八条 新たに指定市の指定があり、当該指定市が一般国道、高速自動車国道又は都道府県道の管理を行うこととなつた場合における第二条の規定の適用の特例については、政令で定める。

附則抄

(施行期日)

1 この法律は、昭和四十一年二月一日から施行する。

附則 (昭和五八年二月一〇日法律第八三号)抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、それぞれ当該各号に定める日から施行する。
一 略
二 第一条から第三条まで、第二十一条及び第二十三条の規定、第二十四条中麻薬取締法第二十九条の改正規定、第四十一条、第四十七条及び第五十四条から第五十六条までの規定並びに附則第二条、第六条、第十三条及び第二十条の規定、昭和五十九年四月一日

(地方道路譲与税法等の一部改正に伴う経過措置)

第十三条 第五十四条の規定による改正後の地方道路譲与税法第二条第一項及び第二条の第二項、第五十五条の規定による改正後の石油ガス譲与税法第二条第一項並びに第五十六条の規定による改正後の自動車重量譲与税法第二条第一項の規定は、昭和五十九年度分の地方道路譲与税、石油ガス譲与税及び自動車重量譲与税から適用し、昭和五十八年度分までの地方道路譲与税、石油ガス譲与税及び自動車重量譲与税については、なお従前の例による。

(その他の処分、申請等に係る経過措置)

第十四条 この法律(附則第一条各号に掲げる規定については、当該各規定。以下この条及び第十六条において同じ。)の施行前に改正前のそれぞれの法律の規定によりされた許可等の処分その他の行為(以下この条において「処分等の行為」という。)又はこの法律の施行の際現に改正前のそれぞれの法律の規定によりされた許可等の申請その他の行為(以下この条において「申請等の行為」という。)で、この法律の施行の日においてこれらの行為に係る行政事務を行うべき者が異なることとなるものは、附則第二条から前条までの規定又は改正後のそれぞれの法律(これに基づく命令を含む。)の経過措置に関する規定に定めるものを除き、この法律の施行の日以後における改正後のそれぞれの法律の適用については、改正後のそれぞれの法律の相当規定によりされた処分等の行為又は申請等の行為とみなす。

附則 (昭和五九年三月三十一日法律第七号)抄

第一条 この法律は、昭和五十九年四月一日から施行する。

(石油ガス譲与税法の一部改正に伴う経過措置)

第二十五条 第四条の規定による改正後の石油ガス譲与税法(以下「新石油ガス譲与税法」という。)第三条第一項の規定は、昭和五十九年度以後の年度分の石油ガス譲与税について適用し、昭和五十八年度分までの石油ガス譲与税については、なお従前の例による。

昭和五十九年度分の石油ガス譲与税については

前項の規定にかかわらず、新石油ガス譲与税法第三条第一項の表の上欄に掲げる譲与時期は、次の表の上欄に掲げる時期とし、同項の表の下欄に定める譲与時期ごとに譲与すべき額は、次の表の上欄に掲げる譲与時期ごとにそれぞれ同表の下欄に定める額とする。

Table with 2 columns: 譲与時期 (譲与時期ごと) and 譲与すべき額. Rows for August, October, and March.

昭和六十年年度分の石油ガス譲与税については、第一項の規定にかかわらず、新石油ガス譲与税法第三条第一項の表の下欄に定める譲与時期ごとに譲与すべき額は、次の表の上欄に掲げる譲与時期ごとにそれぞれ同表の下欄に定める額とする。

Table with 2 columns: 譲与時期 (譲与時期ごと) and 譲与すべき額. Rows for June, November, and March.

当該年度の初日の属する年の三月における同月において収納すべき石油ガス税の収入額の見込額と同年の四月に相当する額と同月において収納した石油ガス税の収入額との差額を同年の四月及び五月における収納に係る石油ガス

